

松林伯圓（二世）（松林伯圓の孫） 講釋師。天保五年六月一日常陸國生れ、明治

二十八年二月八日歿（八三—九五）。書姓手島、本名若林義行、通稱

手島辰彌一若林駒次郎。別名伊東花鏡、寶井調林、松林東玉。伊東潮

花、のち寶井馬琴（二世）の入門。白浪物の長じ、泥棒伯圓の異名

を得た。新政府から教養職に任ぜられ、明治大皇朝前講演を果す。

著書 精進地 世界廻轉燈籠（市東謙士） 遠記、明治十九年七月山本秀雄 早川駒次郎出

版、鴉東館 鴉張榮三郎發兌、新編 伊香保土産（内題「關口文七新編伊香

保土産） 伯圓・若林義行名、明治十九年十月金松堂、（西京） 樽高倉

（一名阿政暴殺）（佐藤以文） 遠記、明治二十一年十一月十日金櫻

堂、（西京） 餘聞雪振袖（今村次郎遠記、明治二十五年七月九日花月新

聞社） 花月新聞（第十七號附録）、（天保） 六花撰（内題「河内山眺

六花撰） 今村次郎遠記、明治二十五年十月二十五日鈴木金輔（編輯） 聚

榮 大川屋錠吉、（狭谷） 故郷迎春風（一） 名關口文七寶傳（酒井昇造

遠記、明治二十八年二月金松堂、（中山） 大納言（山口鷺塗遠記、

明治二十一年十一月二十八日文武堂、（高世） 名教善音機（合著） 關如

來齋、明治二十二年十月七日又藤堂）等。